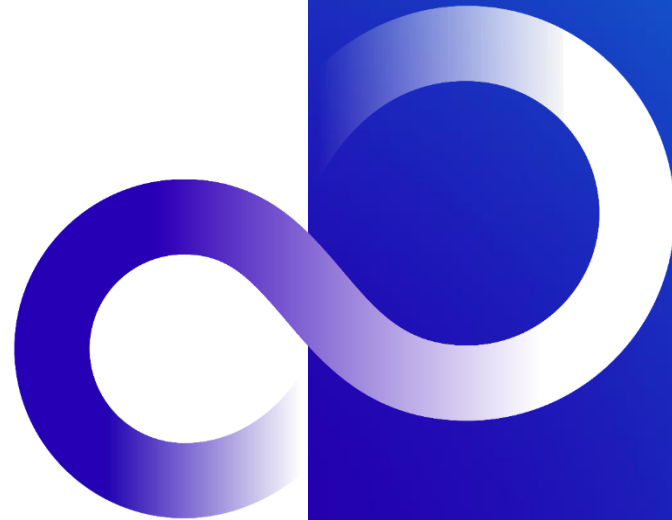


ファイル転送ソフトウェア
HULFT

富士通株式会社



1. HULFTシリーズの概要

1.1 HULFTとは

- 株式会社セゾンテクノロジーが提供するファイル連携ソフトウェアのブランド
- ファイル連携の分野において国内トップシェア、ワールドワイドでも上位のシェア
- 用途/シーンに応じて様々な種類のソフトウェア/機能をリリース

1.2 HULFTシリーズの特色

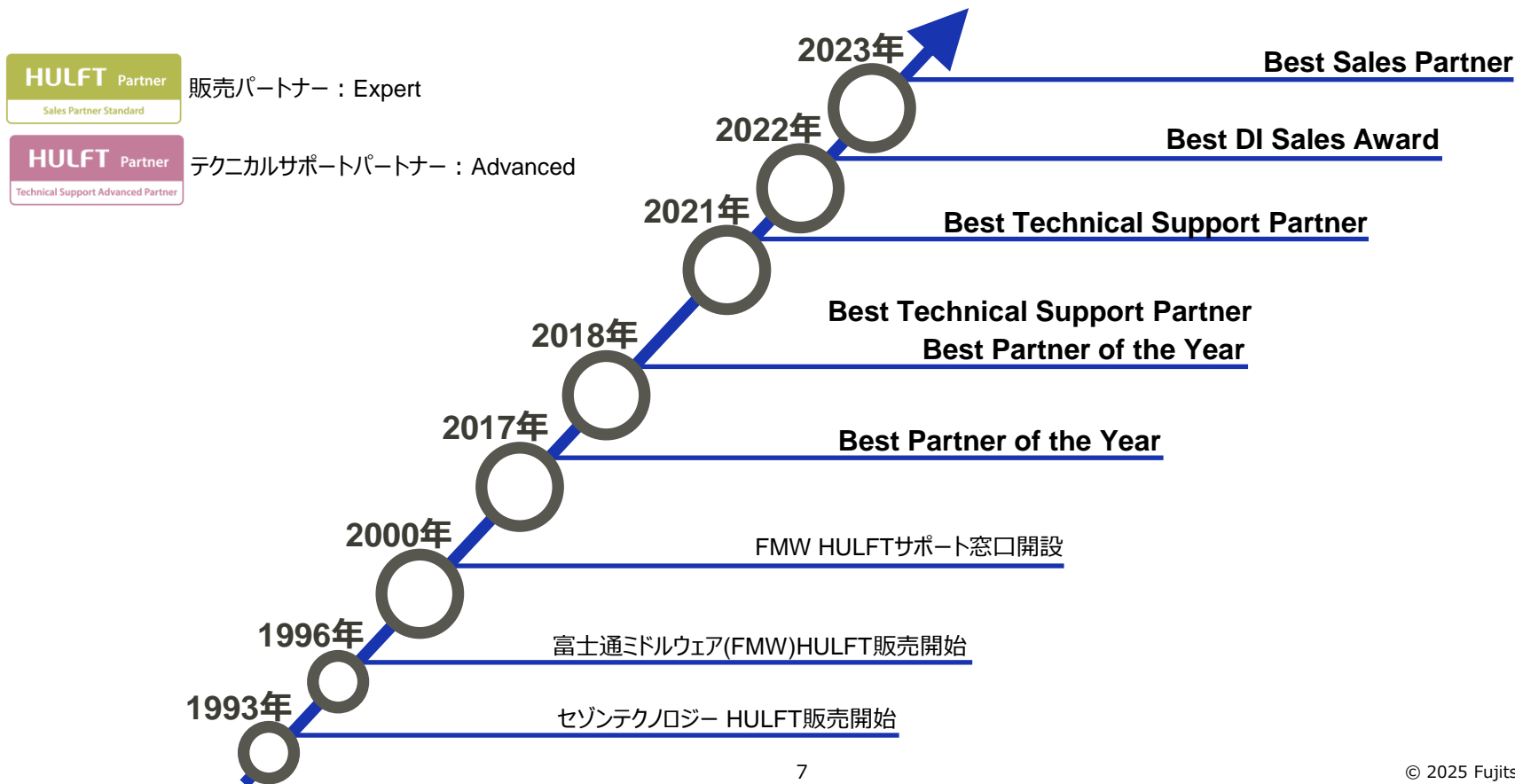
- マルチプラットフォーム対応
メインフレームからWindowsまで、様々なOSや環境に対応
- 優れた運用管理機能
運用の自動化、運用管理が容易
- 高い信頼性
安定稼動、確実なデータ連携で、ミッションクリティカルな分野での利用に最適
- データ連携における豊富な関連商品
DataMagicやHULFT-HUB、HULFT-WebConnectなど、用途に応じた多彩な選択肢

1.3 HULFTシリーズの豊富な関連製品

- HULFT10
HULFTの基本的な製品
- DataMagic
データ加工・変換に必要な機能を完全網羅
- HULFT-HUB
HULFT データ連携を効率的に管理・運用
- HULFT-WebConnect
HULFT専用のインターネットVPN（TLS暗号経路）を提供するクラウドサービス

2. 富士通が選ばれる理由

2.1 販売パートナーとしての歩み



2.2 富士通製ソフトウェアとの連携ソリューション

- Fujitsu Software Systemwalker Operation Manager

<https://docs.fujitsu/documents/1-0019/businessprogram-s14041.pdf>

HULFTとSystemwalker Operation Managerの連携により、ファイル転送のジョブ運用を効率化できます。Systemwalker Operation Managerは、運用管理コンセプトに基づいて、ジョブのスケジューリングや監視、操作など業務運用をトータルに自動化し、安定稼働と低コスト運用を実現するソフトウェアです。HULFT連携オプションを使用すると、GUI操作により短手番でHULFTと連携できます。

- Fujitsu Software PRIMECLUSTER

<https://docs.fujitsu/documents/1-0019/businessprogram-s22113.pdf>

HULFTとFujitsu PRIMECLUSTERの連携により、高信頼・高可用なデータ連携基盤を実装できます。Fujitsu Software PRIMECLUSTERは高可用システムを構築するためのHAクラスタリングソフトウェアです。物理環境、プライベートクラウド環境、パブリッククラウド環境などご利用いただけます。

2.2 富士通製ソフトウェアとの連携ソリューション

- Fujitsu Workload Operations Integrator

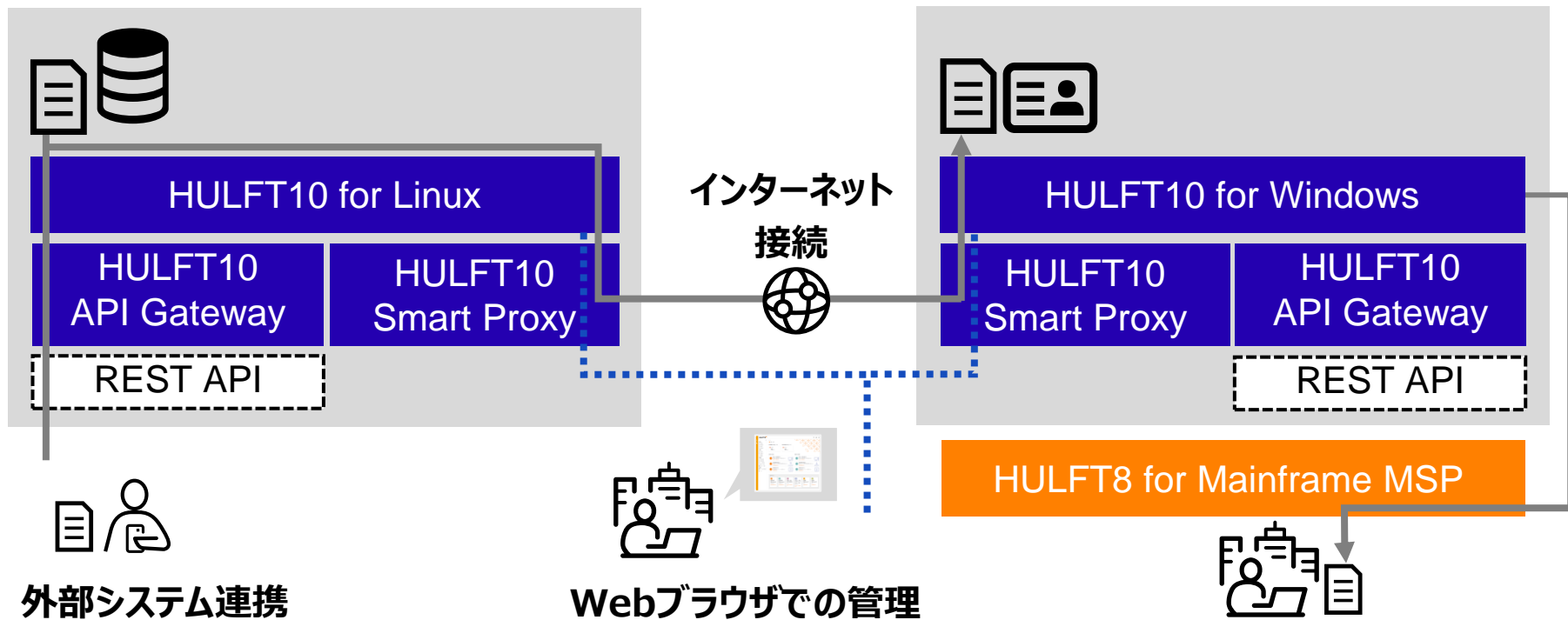
<https://www.fujitsu.com/jp/imagesgig5/hsq-woi-collaboration.pdf>

HULFT Square & Fujitsu Workload Operations Integratorの連携により、DXにより複雑化するシステム間のデータ連携を迅速かつ安定的に実現します。

3. HULFT10

3.1 HULFT10概要

- 企業活動において発生する売上データや顧客情報、ログデータなど、ITシステムに蓄積されたデータの送受信を行うファイル転送ミドルウェア



3.2 HULFT10の主な機能・特徴

- 安全・確実なファイル連携
 - 1つのファイルを同時に複数拠点に転送する同報配信
 - ネットワーク資源を占有しない圧縮転送/間欠転送機能
 - 転送中に異常が発生して配信が失敗した場合に、異常箇所から再度転送するチェックポイント機能
- 高速な転送
 - 新圧縮方式(Zstandard)による転送速度向上(場合により最大でFTPの1/8の転送時間)
- マルチプラットフォーム環境に対応
 - メインフレーム(注)/Linux/Windowsなどのプラットフォームに対応
 - Red Hat OpenShift上のKubernetesコンテナオーケストレーションプラットフォームに対応
- 高度なセキュリティ
 - 「HULFT10 Cipher Option (AES)」で転送データを暗号化
- 柔軟な接続
 - 「HULFT10 Smart Proxy」や「HULFT10 API Gateway」でインターネット接続やAPI連携に対応

(注)富士通のメインフレーム版の最新はHULFT8です。

3.3 有償オプション機能および関連製品

- 暗号オプション (Cipher Option)
高強度暗号AESに対応
- Cloud Storage Option
既存のHULFT ネットワークとクラウドストレージ間のファイル転送が可能
- HULFT Manager
HULFTをリモートで操作可能
- API Gateway
HULFT製品の統合管理製品
Web画面による複数HULFTの管理およびREST APIによるアプリケーション連携が可能
- Smart Proxy
HULFT製品の中継機能に特化したプロキシ製
DMZ上に立てることで、インターネット経由のHULFT通信が可能

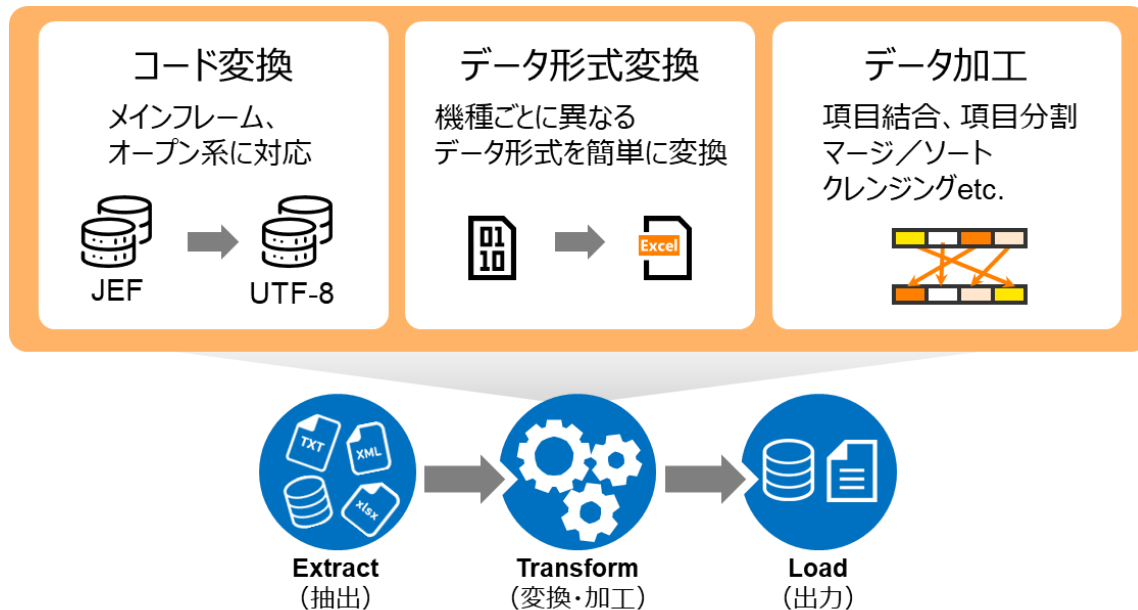
※オプション機能および、関連製品については下記もご参照ください。

<https://www.hulft.com/software/hulft-10/lineup>

4. DataMagic

4.1 DataMagic概要

- データ加工・変換処理をノンプログラミングかつ低価格で実現するETL製品



4.2 DataMagicの主な機能・特徴

- 高速なデータ変換
特にテキスト変換、CSV変換は効果大
- 幅広いコード種、データ形式に適応
- DBからの高速データアンロード
- GUIから様々な設定が可能
 - 入出力データの内容をプレビュー画面で確認
 - 複数項目のマッピングを画面上から一度に実施
 - 変換エラーが発生した場合に該当箇所やエラー詳細を容易に確認
- HULFTとの高い親和性
HULFTの前ジョブや後続ジョブからDataMagicによるデータ変換を実行可能

4.3 有償オプション機能

- DB連携オプション

DBとの連携をサポート。外字変換、数値演算、抽出条件の設定、項目の入れ替え、結合などのDataMagicのすべての機能を他のファイル形式と同様に利用可能。

- Excel 連携オプション

フォーマットの異なる複数のExcelファイル群から、指定した項目のインポートやエクスポートが可能。

- Manager Unlimited接続オプション

DataMagic Managerからの同時接続数の制限を解除する。

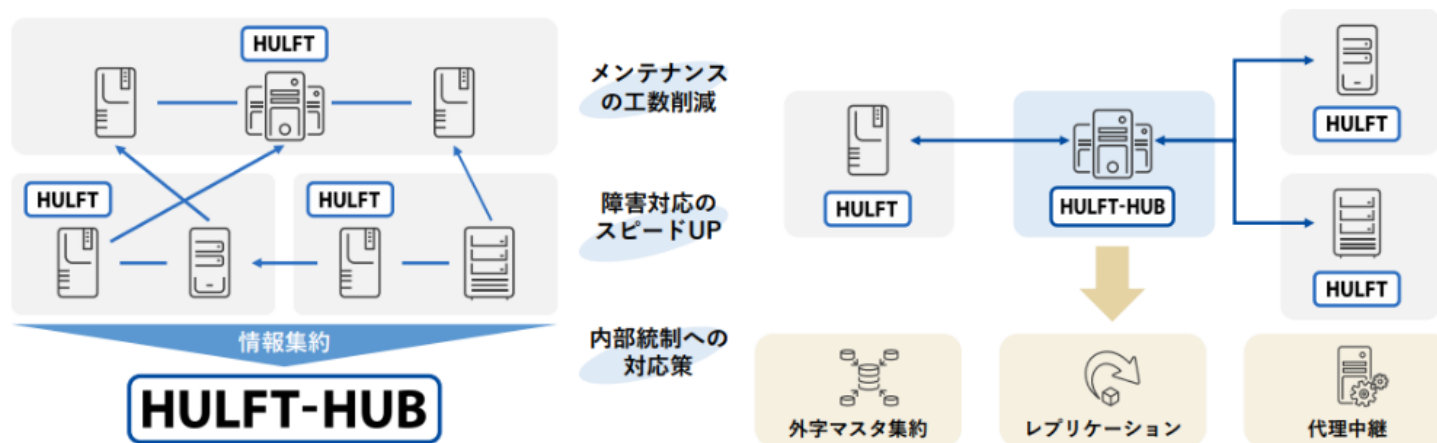
※オプション機能および、関連製品については下記もご参照ください。

<https://www.hulft.com/software/datamagic/function/function-02>

5. HULFT-HUB

5.1 HULFT-HUB 概要

- HULFT運用管理のさらなる最適化・自動化を実現
- データ転送業務を一元管理できる「HULFT-HUB」は「HULFT」を統合管理し、システム上に散在するHULFTの構成・稼働状況・設定・転送を可視化



5.2 HULFT-HUB の主な機能・特徴

- HULFTの統合管理・運用

HULFTは1対1のファイル連携が基本だが、HULFT-HUBを導入することによって、以下のような効果が期待できる。

- システム構成・設定・状況の見える化

全てのHULFTの環境・稼働状況・設定・転送状況を管理画面から把握

- 運用の自動化・効率化

ファイル授受の設定や運用を効率化

中継や「HULFT」の動作状況にあわせた集信などをジョブフローで自動化

- バックアップ・DR対策

システム障害などに備え、中継データを蓄積

転送順序を再現した再送や、DRサイトへの重要データ退避を効率的に実現

5.3 有償オプション機能

- 暗号オプション (Cipher Option)
 - AES
 - C4S
- HULFT-HUB Manager(必須)
 - HULFT-HUB Server を利用するためのインターフェースを提供
 - Windows版のみ

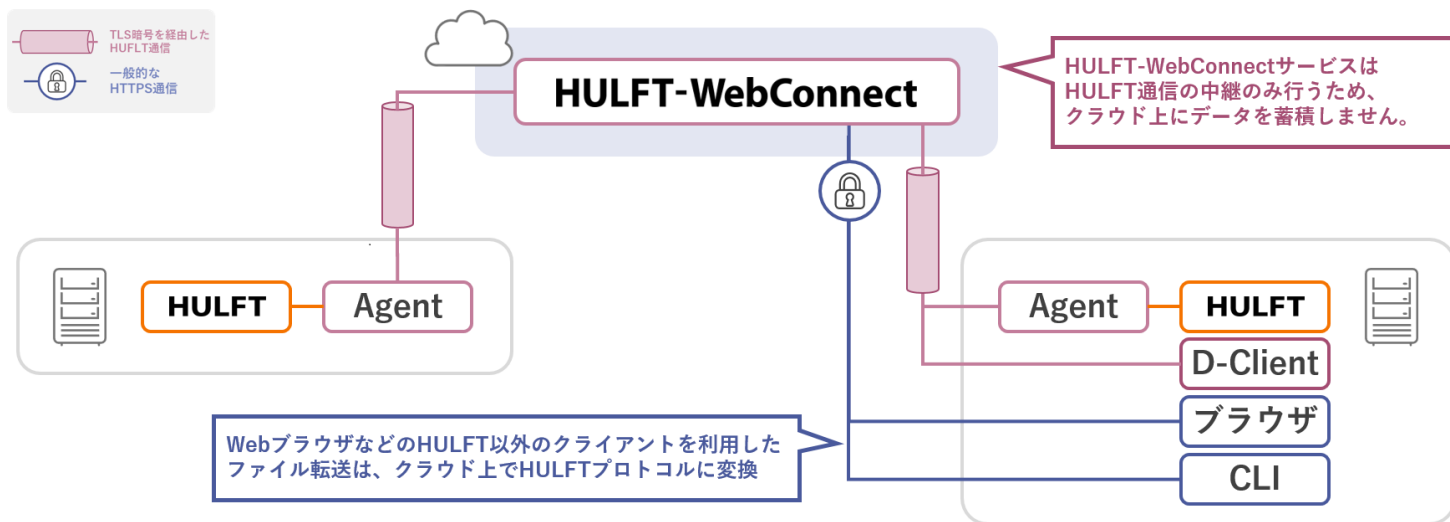
※オプション機能および、関連製品については下記もご参照ください。

<https://www.hulft.com/software/hulft-hub/function>

6. HULFT-WebConnect

6.1 HULFT-WebConnect概要

- HULFT専用のインターネットVPN（TLS暗号経路）を提供するクラウドサービス
- インターネット接続環境さえあれば、安全安心の「ファイル連携基盤」を簡単に実現



- HULFT製品一覧 (セゾン社のサイト)

<https://www.hulft.com/software>

※本資料中の画像は上記ウェブサイトより転載

Thank you

